

レーザー研を巣立つ方々へ送る言葉

高部英明

(本原稿は07年度レーザー研送別パーティーのために用意したものである 080307)

学部、大学院に一区切りをつけた学生の皆さん、職場を去る皆さん、新しい門出をお祝いいたします。乾杯の前に人生の先輩として一言、送る言葉を述べさせて下さい。

喜劇王といわれたチャップリンの「ライムライト」という映画。人生をはかなみ自殺しようとした踊り子にチャップリンがかけた言葉は「人生は生きるに値する。人生に必要なのは勇氣と希望と、少しのお金」と、彼の哲学を伝えます。

では、「勇氣」はどのようにしたら勝ち得るのでしょうか。勇氣は蛮勇ではいけません。真実に立脚して生きる勇氣です。建前と本音が合致した生き方です。皆さんは若い。人生は始まったばかりです。これからのために本をたくさん読んでください。人物伝をおすすめします。司馬遼太郎の「龍馬が行く」などもいいと思います。本を読むことで、いろいろな人の生き方の疑似体験をしてください。そして、自分の生き方を探してください。

次に、「希望」です。希望とは「想像力」です。歴史を振り返ればわかるように、想像は過去の確立したものを、新しい世界に適用することで生まれます。そのためにも本を読んでください。特に、歴史の本を読んでください。ドキュメンタリー小説でも結構です。皆さんは否応なくグローバル化の中で仕事をすることを強いられます。中国との関係は深まっています。そのとき、日本と中国の近代史を知らずして、真の友達を作ることはできません。忌憚なく日中戦争の原因を英語で議論しあえる力をつけてください。過去を学ぶことは、未来を予想する「想像力」を培ってくれます。現在の状況だけを見て、10年先を読むことはできません。

そして、最後が「some money」です。分不相応なお金は人間をだめにします。お金があっても心が空っぽな人生ほどむなしいことはありません。お金は人生を生きる貴方の「心を豊かにする」道具と考えてください。手段であり、お金が目的になる人生ほど悲しいことはありません。

最後に、まとめましょう。いろいろな人物の生き方を疑似体験する読書をしてください。そして、「勇氣」を持って、裏も表もない自己実現を果たす努力をしてください。そのためには「想像力」「希望」「夢」が必要です。歴史を学び、自分の進むべき道を常に探してください。そして、自己実現を目指すため、必要最小限のお金を稼いでください。

私のモットーは「正直が最良の策(Honesty is the best policy)」です。この言葉を皆様へ送り、乾杯に移りたいと思います。